

# SUS304+粉体焼付塗装により、防錆性がさらに向上。ステンレス製屋外フード全商品に採用し、ますます安心の三菱屋外端末部材です。

ステンレスは、含有成分のクロム元素が空気中の酸素と結合し「不動態皮膜」を作ることで表面の酸化作用（腐食）を防ぎます。しかし、この皮膜にも大気中の鉄粉（もらいサビ）や塩分などが付着すると、不動態皮膜を傷つけ、表面に腐食を発生させることとなります。三菱ステンレス製屋外端末部材では、それを防ぐ対策として、粉体焼付塗装を全商品に採用。腐食に対する耐力（防錆性）が向上し、ますます安心してご使用いただける商品群となりました。



## 粉体焼付塗

効率的な塗装方式が腐食に対する耐力をさらにアップ。

### ■粉体焼付塗装とは？

粉体焼付塗装方式	溶剤焼付塗装方式(従来)
①粉体の塗料を塗装面に付着させる。 ②この状態で乾燥炉で焼付けて乾燥し、塗料を硬化させる。	①塗料を溶剤で溶かして塗装。 ②乾燥炉で焼付けて塗料を硬化させる。

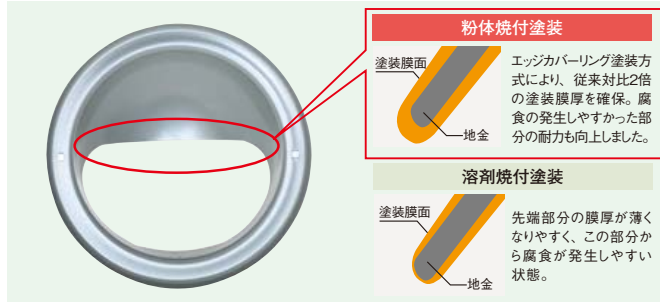
### ■粉体焼付塗装の特徴

- 1 溶剤焼付塗装より、広い範囲の塗装が可能
- 2 溶剤焼付塗装より塗装膜厚が厚い
- 3 製造工程で溶剤を使用しないので環境にやさしい

## 腐食耐力強

エッジカバリング塗装方式で先端部も腐食耐力を強化。

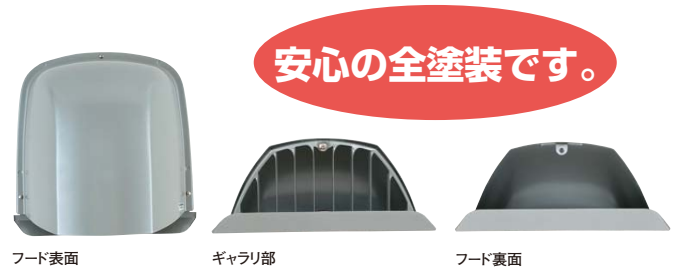
粉体焼付塗装は「多量」で「広い」範囲に付着するため、溶剤焼付塗装よりも、約2倍の塗装膜厚を実現し、腐食耐力を向上します。



## 完全塗装

ネジやリベットにはメッキ処理を実施。

フード表面だけの塗装でなく、フード裏面も塗装。ネジやリベットには、メッキ処理を実施。三菱は全塗装フードで腐食耐力にも安心の仕様です。

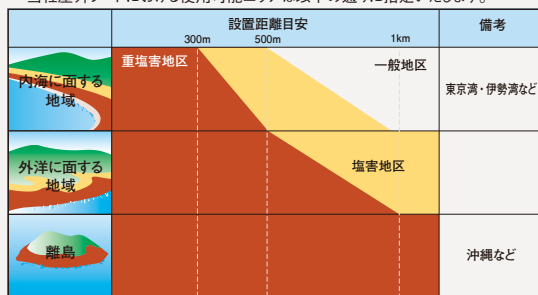


安心の全塗装です。

ダクト用システム部材

### ■屋外端末部材(粉体焼付塗装)の使用可能範囲の目安

当社屋外フードにおける使用可能エリアは以下の通りに指定いたします。



### ■粉体焼付塗装仕様(標準品)の位置付け

- (1) 設置場所が海から1kmを越える場所
- (2) 設置場所から海までの距離が300mを越え1km以内において
  - ・潮風が直接当たらない場所・海岸面と反対になる場所・フード部分に雨が直接当たる場所

### ■重塩害地区用の位置付け

重塩害地区においては、標準品はご使用になれません。「重塩害地区用」を受注対応にて承ります。

- (1) 設置場所が海から300mを越え1km以内において
  - ・潮風が直接当たる所・海岸に面するところ
- (2) 設置場所が海から300m以内の場所

※地域特有の条件により「塩害地区」「重塩害地区」に該当する地域が拡大する場合がありますので、使用する地域に既設の建築施設等の腐食程度、補修頻度などを参考に耐食性をご検討ください。

※加算費用は、382ページをご覧ください。

### ■ステンレス製( は受注対応品となります。)

項目	塗装	仕様内容	フード表面	フード裏面	ネジ部	パイプ部
重塩害地区でご使用の場合	標準色	粉体焼付塗装+クリアー塗装	○	○	○	○
	指定色	粉体焼付塗装+指定色塗装	○	○	○	○
重塩害地区以外でご使用の場合(塩害地区および一般地区)	標準色	粉体焼付塗装	○	○	— (メッキ処理)	—
	指定色	粉体焼付塗装+指定色塗装	○	—	○	—

### ■アルミ製( は受注対応品となります。)

項目	塗装	仕様内容	フード表面	フード裏面	ネジ部	パイプ部
重塩害地区でご使用の場合	標準色	耐食処理+クリアー塗装	○	○	○	○
	指定色	耐食処理+指定色塗装	○	○	○	○
塩害地区でご使用の場合	標準色	耐食処理+クリアー塗装	○	—	○	—
	指定色	耐食処理+指定色塗装	○	—	○	—
一般地区でご使用の場合	標準色	耐食処理	○	○	— (メッキ処理)	—
	指定色	耐食処理+指定色塗装	○	—	○	—

※重塩害地区での標準色・指定色塗装の加算費用につきましては、塩害地区および一般地区の指定色塗装費用の2倍となります。  
※塩害地区および一般地区での指定色塗装の加算費用は、従来通りの加算費用となります。(詳しくは382ページをご覧ください。)

### ■注意事項(697ページの注意事項を必ず参照してください。)

#### 《アルミ製フードに関して》

- (1) アルミ製標準品は塩害地区に対応していません。
- (2) 「塩害地区」での使用については、指定色塗装またはクリアー塗装を「表面側」に塗装して受注対応いたします。
- (3) 「重塩害地区」での使用については指定色塗装またはクリアー塗装を「表面側・裏面側全面」に塗装して受注対応いたします。

#### 《長くご使用いただくためのお願い》

- (1) 塩害・重塩害地区用をご使用した場合でも発錆に対しては万全ではありません。また発錆や取付けなどは部品や製品の落下につながりますので仕様の選定や据付・メンテナンスに際しては、697ページの屋外端末部材の注意事項を参照してください。
- (2) この製品は汚染ガス耐力(酸、薬品、温泉害など)を持たせたものではありませんので早期に腐食が発生する場合があります。このような環境でご使用する場合は、定期的な点検・清掃及び早めのお手入れが必要です。